

令和5年度

愛知中部水道企業団水道事業会計

当初予算説明資料

— 目 次 —

1 予算編成方針	1
2 予算の施策方針と主な事業の概要	2
3 事業計画	6
4 収益的収入及び支出	6
5 資本的収入及び支出	6
6 債務負担行為	6
7 企業債	6
8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表	7
9 第2次水道施設整備計画位置図	9

1 予算編成方針

我が国の経済情勢は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつあり、緩やかな持ち直しが続いている一方で、ロシアによるウクライナ侵略を背景とした国際的な原材料価格の上昇、円安の影響によるエネルギー価格の高騰、欧米各国の金融引締めによる世界的な景気後退への懸念が高まるなど、経済を取り巻く環境は以前にも増して厳しい状況に置かれています。

こうした中政府は、景気の下振れリスクに先手を打ち、経済を持続的な成長経路に乗せていくため、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を策定し、万全の経済財政運営を行うとしています。また、厚生労働省から、「強靱・安全・持続可能な水道の構築」として、水道施設の耐災害性強化を始め、安全で良質な給水を確保するための施設整備等の推進について示された水道関係の予算案が提出されましたが、生活基盤施設耐震化等交付金は前年度と比べて16億5千万円減額されており、政府の施策を注視しながら、企業団の財源確保に与える影響を見極めていく必要があります。

本企业団に目を向けますと、令和4年度において、前年度から給水人口については増加しているものの有収水量は減少しており、給水収益の大幅な増収は期待できない状況となっています。また、水道施設整備事業においては、当初の計画から企業債を増額して財源を確保しつつ、県補助金や内部留保資金を活用しながら工事費の上昇に対応し、老朽管路や水道施設の更新を進めているところです。

こうした状況下において、令和5年度も、基本理念である「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」の実現に向けて、引き続き第3次アクア・シンフォニー計画に掲げる「安全」「強靱」「持続」の各事業目標を確実に達成していく必要があります。しかしながら、工事費の上昇に加えて電気、ガス等燃料価格の高騰は、既に投資計画や純利益に多大な影響を与えており、これからも厳しい経営状況が続くことが予想されます。今後、次世代に経済的な負担を先送りすることがないように、内部留保資金や企業債残高に留意しながら、可能な限り経常経費を縮減し、第2次水道施設整備計画を始めとした各種事業を合理的かつ効果的に実施することにより、将来にわたって安心安全な水道水を安定的に供給するという水道事業者として最も重要な責務を遂行していきます。

令和5年度の予算編成にあたっては、各種事業における今後の方向性、課題及び改善策を明確にした上で、重要度、緊急度及び効果性を勘案し、優先すべき事業に予算を重点的かつ効率的に配分することを考慮し、編成しました。

2 予算の施策方針と主な事業の概要

★★水道事業ビジョン★★
第3次アクア・シンフォニー計画
(令和3年度～令和12年度)

基本理念「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」



基本理念実現に向けた3つの基本計画

計画1 「安全」 安全できれいな水を届ける

I 安全な水供給の確保

(主な事業)

1. 安全な水道水を届けるため、水質検査計画に基づく検査を実施し、水質検査の正確性や分析技術の向上を図ります。
 - ・適正な水質管理 … 1,297万円
(一部農薬項目等の水質検査業務委託、和合ヶ丘配水場滅菌設備更新工事他)
 - ・水質検査精度管理 … 1,599万円
(ガスクロマトグラフ質量分析装置等の保守点検業務委託、水質検査機器更新他)
 - ・水安全計画の検証
(水安全計画のレビュー)
2. 施設場内への侵入防止や異物混入防止対策のため、施設警備委託による常時監視を継続します。
 - ・施設警備委託 … 350万円
(水道施設警備業務委託、防犯灯設置工事他)

計画2 「強靱」 災害に強い水道づくり

I 第2次水道施設整備事業の推進

(主な事業)

1. 老朽管が多い地区や漏水が多発している管路を計画的に更新します。

・老朽管路の更新 … 21億9,103万円

(東郷町白鳥2丁目他地内配水管布設替工事始め36件 L=18,120m)

2. 災害時に備えるため、基幹管路や災害時に拠点となる重要給水施設へ至る管路の耐震化を行います。

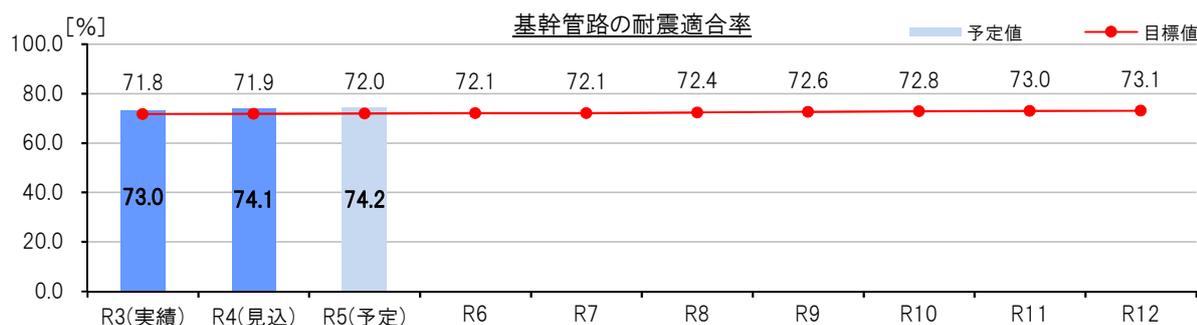
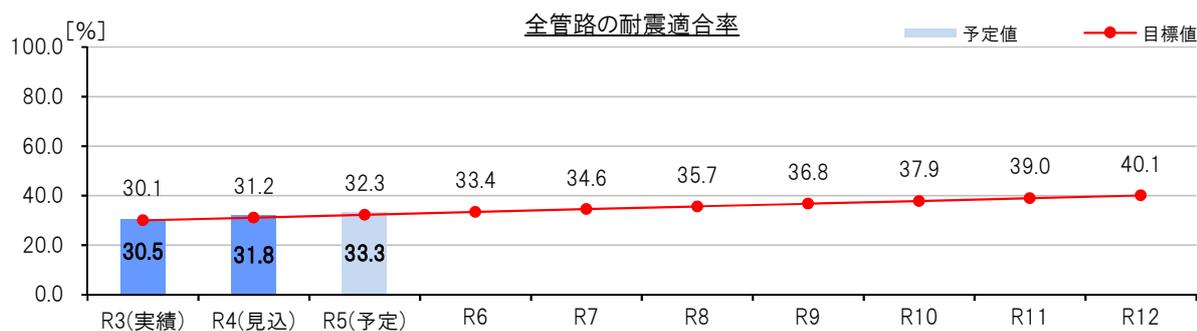
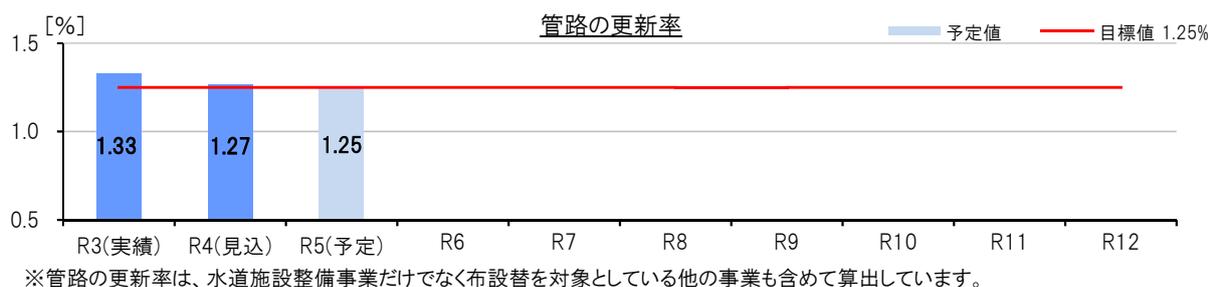
・基幹管路の耐震化 … 3億866万円

(三ヶ峯幹線送水管布設替工事その4始め2件 L=248m)

・重要給水施設管路の耐震化 … 1億9,499万円

(東山三吉小線配水管布設替工事その1始め4件 L=1,253m)

第2次水道施設整備計画(令和3年度～令和12年度)の主な指標



※管路耐震適合率とは、比較的良好な地盤に布設されているダクタイル鋳鉄管(K型継手)を耐震適合性がある管として、耐震管と合わせて算出したものです。

※基幹管路とは、導水管(取水施設から浄水施設に至る管)、送水管(浄水施設から配水施設に至る管及び配水池間を結ぶ管)、φ400mm以上の配水管をいいます。

II 水道施設のレベルアップ

(主な事業)

1. 水道水を継続的に供給していくため、水道施設を適切に維持管理し、老朽化した施設を計画的に更新します。

- ・配水池のリフレッシュ …… 550万円（東郷配水場配水池内部清掃業務委託）
- ・遠方監視システムの適正管理 …… 9,461万円
（計装監視設備更新工事、電気計装設備点検業務委託他）

2. 水道事故を未然に防止するため、管路を適切に維持管理します。

- ・漏水調査 …… 5,884万円（漏水調査業務委託他）
- ・仕切弁等点検 …… 732万円（管路施設点検業務委託）
- ・管洗浄等の実施 …… 3,576万円（水管橋塗装工事、配水管内クリーニング工事他）

3. 区画整理事業や公共工事と同調し、効率的に配水管を整備します。

- ・区画整理事業等に対する迅速な対応 …… 3億7,546万円
〔豊明間米南部土地区画整理内配水管布設工事その1始め8件 L=4,694m、
区画整理事業に伴う設計委託3件〕
- ・公共工事と同調した配水管整備 …… 2億2,812万円
（日進市本郷町古郷地内配水管布設替工事その3始め9件 L=1,605m）

III 危機管理対策の推進

(主な事業)

1. 災害時における円滑な応急給水活動・復旧活動に備えるため、災害用資機材を計画的に整備します。

- ・災害用資機材の確保 …… 336万円
（非常用飲料水袋の購入、MCA無線リース料、災害時燃料の貯蔵タンク使用料他）

計画3 「持続」 いつも信頼できる水道システム

I 水道水の安定供給

(主な事業)

1. 安全で良質な水を安定的に確保するため、県営水道からの受水を合理的かつ効率的に行います。
また、老朽化や水質状況を考慮し、自己水源の適切な維持管理を行います。

- ・県営水道からの受水 …… 24億246万円
（承認基本給水量 102,500m³/日、年間予定受水量 34,776,000m³）
- ・自己水源の合理化 …… 2,663万円
（水源施設に係る電力料他）

II お客様との連携の促進

(主な事業)

1. 多様化するお客様のニーズや利便性に対応するため、サービスのさらなる向上を図ります。
 - ・ 給水事務の迅速化 …… 262万円（給水システム保守業務委託）
 - ・ 配水補助管助成金制度の継続 …… 3,310万円（配水補助管助成金）
2. 将来を担う子どもたちを対象として、水の大切さや水道の役割について理解と関心を高めてもらうため、水道学習を継続して行います。
 - ・ 水道学習の実施 …… 47万円（小学生を対象とした水道学習用パンフレット他）
3. ホームページや広報誌等を通じて、水道事業に関する情報を分かりやすく提供します。
 - ・ 広報広聴活動 …… 344万円
(広報誌「ふれっしゅ水道」(年間2回発行、予定部数279,000部)作成委託他)

III 持続可能な水環境づくり

(主な事業)

1. 環境保全の責務を果たすため、さらなる環境負荷の削減に向けた取り組みを継続します。
 - ・ 太陽光発電設備、電気自動車の活用 …… 19万円（太陽光発電設備の年次点検業務委託）
2. 水道水源環境保全基金を活用し、「水源の森」森林整備協定造林事業による水源の環境整備を行うとともに、ボランティア組織「水源の森応援隊」による森林整備を継続します。
 - ・ 「水源の森」森林整備協定造林事業 …… 2,135万円
 - ・ 水源地域との交流事業 …… 133万円

〔ボランティア組織「水源の森応援隊」による植樹などの森林整備活動の実施、森林ボランティアリーダー実技講習会の開催他〕

IV 健全かつ安定した事業運営

(主な事業)

1. 自己財源の負担軽減を図るため、各種補助金制度を活用して財源の確保に努めます。
 - ・ 補助金制度の活用 …… 4,027万円（愛知県生活基盤施設耐震化等補助金）
2. 事業実施に必要な財源を確保し健全経営を継続するため、企業債の適正な借入に努めます。
 - ・ 企業債の適正借入 …… 5億円（利率が4.0%以内の公的資金を借入れ）

V 人材育成・組織力の強化

(主な事業)

1. 職員の人材育成・能力開発を図るため、研修内容を改善し充実させます。
 - ・ 職員教育の充実 …… 222万円（内部・外部研修の実施）

3 事業計画

(1) 業務の予定量

区 分	単位	令和5年度 予定 A	令和4年度		増減 C (A-B)	増減率(%) (C/B)
			当初予定 B	見 込		
給 水 戸 数	戸	139,400	137,400	138,700	2,000	1.5%
給 水 人 口	人	328,800	327,200	327,800	1,600	0.5%
総 給 水 量	千m ³	35,317	35,566	35,328	△ 249	△ 0.7%
(うち県営水道受水量)	千m ³	34,776	35,027	34,797	△ 251	△ 0.7%
有 収 水 量	千m ³	33,410	33,610	33,385	△ 200	△ 0.6%
有 収 率	%	94.6	94.5	94.5	0.1	0.1%
1 日 平 均 給 水 量	m ³	96,759	97,441	96,789	△ 682	△ 0.7%
1 人 1 日 平 均 給 水 量	ℓ	294.3	297.8	295.3	△ 3.5	△ 1.2%
1 人 1 日 平 均 有 収 水 量	ℓ	278.4	281.4	279.0	△ 3.0	△ 1.1%
職 員 数	人	99	97	97	2	2.1%

(2) 建設改良事業の概要

科 目	予算額	主な事業
配 水 設 備 改 良 費	4,175,805千円	第2次水道施設整備事業 土地区画整理等受託事業
固 定 資 産 購 入 費	35,120千円	庁内情報システム端末等機器買替え

4 収益的収入及び支出

水道事業収益7,725,744千円に対して、水道事業費用は6,579,885千円で差引き1,145,859千円が税込み当年度純利益となります。なお、消費税及び地方消費税を整理すると908,525千円の税抜き当年度純利益となります。

5 資本的収入及び支出

資本的収入1,377,581千円に対して、資本的支出は4,426,992千円となり、差引き不足額3,049,411千円は、減債積立金13,000千円、建設改良積立金227,935千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額233,022千円、過年度分損益勘定留保資金1,490,405千円、当年度分損益勘定留保資金1,085,049千円で補てんする予定です。

6 債務負担行為

事 項		期 間	限度額
管路耐震化工事	三ヶ峯幹線その5	令和6年度	61,864千円
老朽管路更新工事	豊明市新栄町7丁目地内、栄町新左山他地内	令和6年度	742,291千円
	日進市岩崎台一丁目地内、米野木町追鳥地内		
	みよし市三好町中島他地内、福田町屋敷浦他地内		
	長久手市塚田地内、長配2丁目地内		
	東郷町北山台2丁目他地内、和合ヶ丘3丁目他地内		

7 企業債

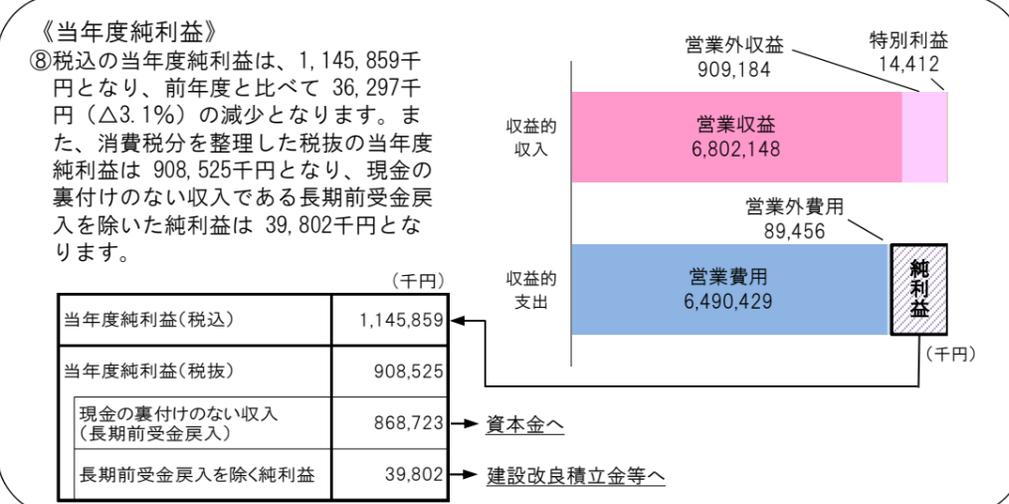
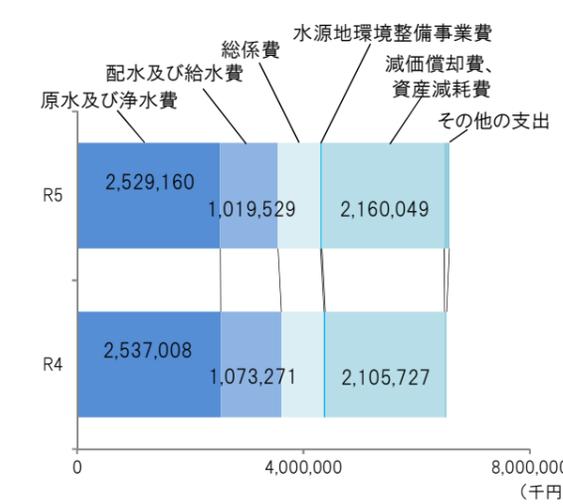
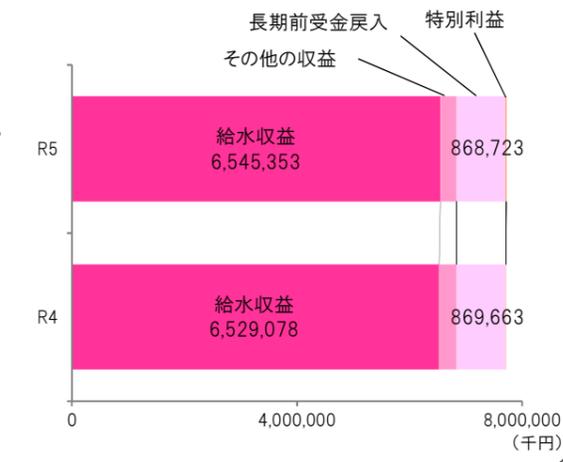
配水設備改良事業の財源として、限度額を500,000千円と定め、利率が4.0%以内の公的資金を借り入れる予定です。

8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表

(1) 収益的収支 ※収益的収支（損益勘定）とは、1年間で水道水を供給して得る収入と供給に要する費用（支出）の内訳を表すものです。〔予算書P4～P5〕

(単位:千円)

収入科目	令和5年度 予定額	令和4年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	主な概要
営業収益	6,802,148	6,782,067	20,081	0.3%		<p>《収益的収入》</p> <p>①営業収益のうち給水収益は、1人1日当たりの使用水量は減少するものの、供給単価の増加により、前年度と比べて16,275千円(0.2%)の増加となります。</p> <p>②営業外収益のうち消費税還付金は、建設改良事業の減少に伴い仮払消費税が減少し、消費税が還付から納付に転じることにより、前年度と比べて10,233千円(皆減)の減少となります。</p> <p>③特別利益のうちその他特別利益は、退職給付引当金戻入益の増加により、前年度と比べて11,362千円(372.5%)の増加となります。</p>
給水収益	6,545,353	6,529,078	16,275	0.2%	水道料金及び水道水源環境保全基金収入	
受託工事収益	803	803	0	0.0%		
その他営業収益	235,723	232,965	2,758	1.2%	給水工事に伴う設計事務費、下水道徴収事務負担金他	
他会計負担金	20,269	19,221	1,048	5.5%	消火栓等維持管理負担金他	
営業外収益	909,184	928,690	△19,506	△2.1%		
受取利息	3,244	3,244	0	0.0%	預金利息、有価証券利息他	
他会計補助金	0	199	△199	皆減		
長期前受金戻入	868,723	869,663	△940	△0.1%	減価償却費等に対応する長期前受金の収益化	
雑収益	37,217	45,351	△8,134	△17.9%	行政財産目的外使用料他	
消費税還付金	0	10,233	△10,233	皆減		
特別利益	14,412	3,050	11,362	372.5%		
その他特別利益	14,412	3,050	11,362	372.5%	退職給付引当金戻入益	
水道事業収益計(A)	7,725,744	7,713,807	11,937	0.2%		
支出科目	令和5年度 予定額	令和4年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	<p>《収益的支出》</p> <p>④原水及び浄水費は、県営水道受水量の減少に伴う受水費の減少等により、前年度と比べて7,848千円(△0.3%)の減少となります。</p> <p>⑤配水及び給水費は、水道施設補修工事に伴う修繕費の減少等により、前年度と比べて53,742千円(△5.0%)の減少となります。</p> <p>⑥減価償却費は、新規稼働資産の増加により、前年度と比べて45,198千円(2.3%)の増加となります。</p> <p>⑦資産減耗費は、水道施設撤去工事に伴う除却費の増加により、前年度と比べて9,124千円(9.3%)の増加となります。</p>
営業費用	6,490,429	6,496,268	△5,839	△0.1%		
原水及び浄水費	2,529,160	2,537,008	△7,848	△0.3%	県営水道受水費他	
配水及び給水費	1,019,529	1,073,271	△53,742	△5.0%	配水施設等維持修繕費他	
受託工事費	803	803	0	0.0%		
総係費	755,519	754,262	1,257	0.2%	検針・収納等営業業務委託料他	
議会及び監査費	2,687	2,394	293	12.2%		
水源地環境整備事業費	22,682	22,803	△121	△0.5%	水源地環境整備事業助成金他	
減価償却費	2,052,900	2,007,702	45,198	2.3%	有形固定資産構築物他	
資産減耗費	107,149	98,025	9,124	9.3%	用途廃止資産の除却費及び施設撤去費他	
営業外費用	89,456	35,321	54,135	153.3%		
支払利息及び企業債取扱諸費	34,117	30,221	3,896	12.9%		
雑支出	5,100	5,100	0	0.0%	過年度分水道料金減免他	
消費税及び地方消費税	50,239	0	50,239	皆増	仮払消費税の減少に伴う納付金の発生	
特別損失	0	62	△62	皆減		
過年度損益修正損	0	62	△62	皆減		
水道事業費用計(B)	6,579,885	6,531,651	48,234	0.7%		
当年度純利益(A-B)	1,145,859	1,182,156	△36,297	△3.1%		



(2) 資本的収支

※資本的収支（資本勘定）とは、将来にわたって水道水を安定供給するための水道管の新規布設や布設替等に係る経費（支出）と、その財源（収入）の内訳を表すものです。〔予算書P6～P7〕

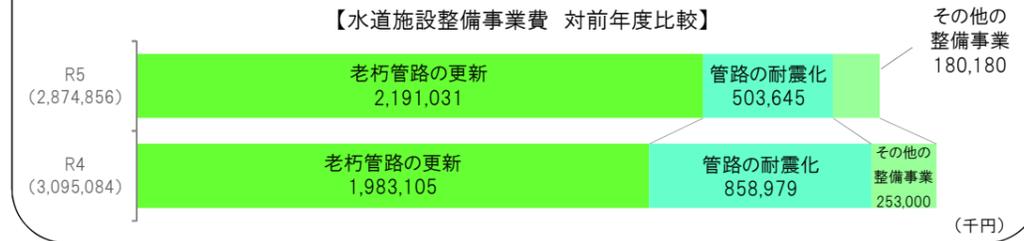
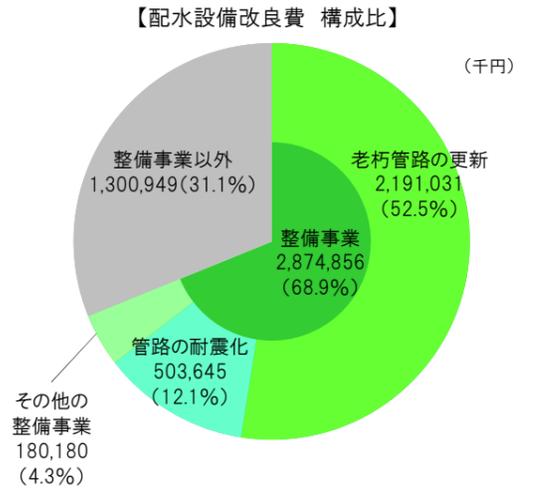
(単位:千円)

収入科目	令和5年度 予定額	令和4年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
企業債	500,000	700,000	△ 200,000	△ 28.6%	配水設備改修事業の財源として借入れ
県補助金	40,267	52,360	△ 12,093	△ 23.1%	重要給水施設管路耐震化事業に対する県補助金
工事負担金	836,966	726,894	110,072	15.1%	土地区画整理等受託事業に伴う負担金他
固定資産売却代金	348	330	18	5.5%	公用車処分に伴う帳簿原価
資本的収入計 (C)	1,377,581	1,479,584	△ 102,003	△ 6.9%	
支出科目	令和5年度 予定額	令和4年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
建設改良費	4,210,925	4,301,716	△ 90,791	△ 2.1%	
配水設備改良費	4,175,805	4,263,823	△ 88,018	△ 2.1%	水道施設整備事業、土地区画整理等受託事業他
固定資産購入費	35,120	37,893	△ 2,773	△ 7.3%	水質検査機器更新他
企業債償還金	211,307	259,352	△ 48,045	△ 18.5%	
補助金返還金	4,760	5,485	△ 725	△ 13.2%	令和4年度県補助金に含まれる消費税相当額の返還分
資本的支出計 (D)	4,426,992	4,566,553	△ 139,561	△ 3.1%	
差引額 (C-D)	△ 3,049,411	△ 3,086,969	△ 37,558	△ 1.2%	△の場合は収入が不足

《資本的収入》
 ⑨配水設備改修事業の財源として、限度額を500,000千円と定め、企業債の借入れを行います。

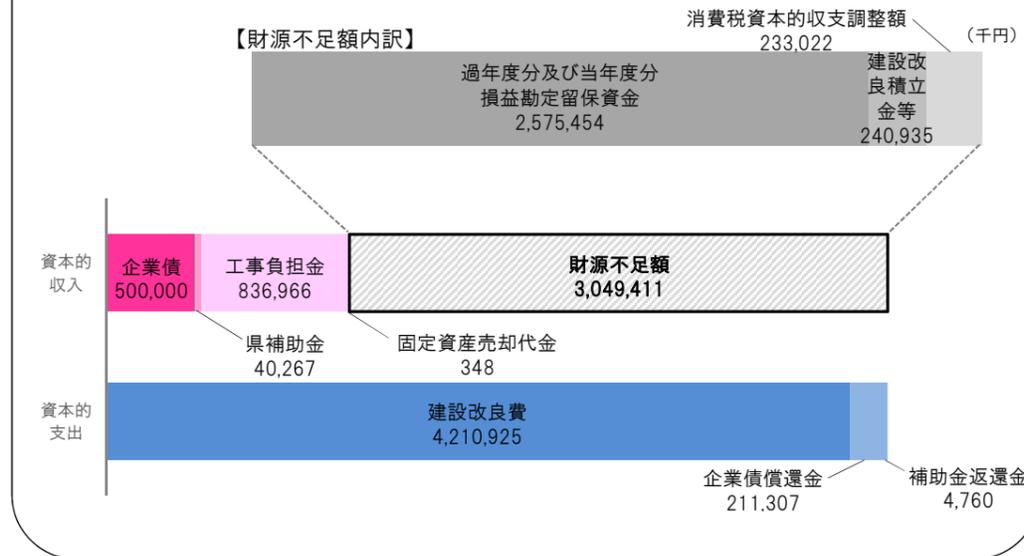
《資本的支出》
 ⑩水道施設整備事業として、東郷町白鳥2丁目他地内を始めとした老朽管路の更新事業を2,191,031千円(18,120m)、管路の耐震適合率の向上のため、三ヶ峯幹線を始めとした管路の耐震化事業を503,645千円(1,501m)を行います。その他に、電気計装設備の更新等を180,180千円行います。

◎管路耐震適合率(対前年度見込増減)
 全管路 … 33.3% (1.5%ポイント増)
 基幹管路 … 74.2% (0.1%ポイント増)



《資本的収支 財源不足額》
 ⑪資本的収入額 1,377,581千円に対して、資本的支出額は4,426,992千円となり、3,049,411千円の財源不足額が発生します。

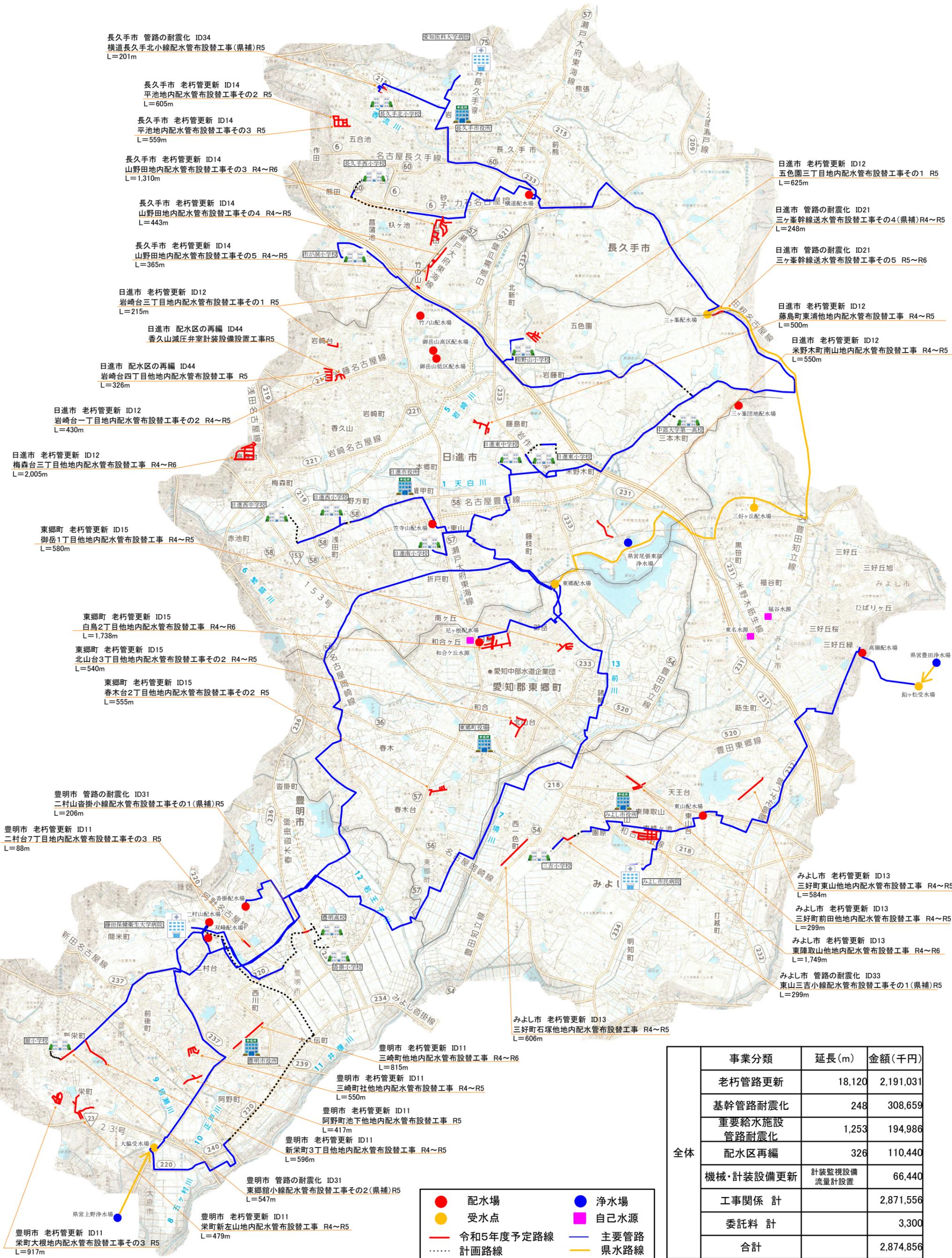
⑫財源不足額については、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金と前年度以前の純利益を利益処分し、積み立てられた建設改良積立金等で補てんします。



※令和5年度資金繰越額 (単位:千円)

収益的収支	収益的収入 (A)	7,725,744
	収益的支出 (B)	6,579,885
	うち現金を伴わない支出 (減価償却費、資産減耗費等)	2,134,607
	純利益 (A-B)	1,145,859
	うち長期前受金戻入を除いた利益	39,802
資本的収支	資本的収入 (C)	1,377,581
	資本的支出 (D)	4,426,992
	収支不足額 (C-D)	△ 3,049,411
前年度資金繰越額 ①	1,830,083	
当年度資金発生額 ②	2,407,431	
当年度純利益	39,802	
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	233,022	
当年度分損益勘定留保資金	2,134,607	
財源充当額 ③	3,049,411	
翌年度資金繰越額 (① + ② - ③)	1,188,103	

9 令和5年度当初予算 第2次水道施設整備計画《位置図》



事業分類	延長(m)	金額(千円)
老朽管路更新	18,120	2,191,031
基幹管路耐震化	248	308,659
重要給水施設 管路耐震化	1,253	194,986
配水区再編	326	110,440
機械・計装設備更新	計装監視設備 流量計設置	66,440
工事関係計		2,871,556
委託料計		3,300
合計		2,874,856